

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書（工事）

契約番号：7152

件 名	(仮称) 障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）（再公告）	
履行場所	海老名市社家二丁目 3449 番地ほか 3 筆	
工 期	令和 7 年 9 月 26 日～令和 8 年 9 月 11 日 (351 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○複数年契約○入札は期間全体の税抜金額 ○各年度の支払限度額(上限)は、令和 7 年度 27,702,000 円(税込)、令和 8 年度は契約金額に応じて決定します。	
予定価格	61,560,400 円 (税込)	55,964,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（70%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 契約締結にあたっての制限等 ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B（75 点）」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件（本市入札案件）との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限（金額上限、中間前払金の制限など） 契約金額の 20%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。） ※前払金の上限金額は 5,000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証（履行ボンド） (ウ) 履行保証保険契約の締結（定額てん補）	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	200 機械器具設置 - 01 昇降機等運搬器具設置 経審 500 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	なし		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入してい		

	ることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) (同通知書発行後に社会保険に加入した場合)健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3) (法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u>
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類
	<u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号(3箇所)にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</u>

(仮称) 障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称（仮称）障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）
2. 工 事 場 所海老名市社家二丁目3449番地ほか3筆
3. 工 事 概 要

■ 建物概要
構造・規模：RC造一部木造 2階建
敷地面積：2196.93㎡ 建築面積：1245.35㎡ 延床面積：1885.17㎡

■ 主要工事
主要機器、かごの設置、三方枠、乗場敷居、乗場戸・乗場ボタン等の設置

■ エレベータ概要
01号機：機械室レスエレベーター
寝台用（人主体）、定員17名、積載量1,150kg、定格速度45m/min
02号機：機械室レスエレベーター
寝台用（人主体）、定員11名、積載量750kg、定格速度45m/min
4. 工 事 期 間 令和7年9月26日 から 令和8年9月11日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
(1)設 計 図 15 枚
(2)内容説明事項書（本書・環境配慮マニュアル） 5 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 9 枚
※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	☐ 補助事業 ☒ 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	☒ 市担当者 ☐ 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	☐ 有 ☒ 無		
②関連工事、 その他工事	☒ 有 ☐ 無	建築工事 機械設備工事 電気設備工事	関連工事と良く調整をはかり、工期内に工事を完了させること。
③施工時期の制限	☒ 有 ☐ 無	(9) その他参照のこと	日曜、祝日は原則休工とする。
④施工時間の制限	☐ 有 ☒ 無		
⑤協議未成立事項	☐ 有 ☒ 無		

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	☐ 有 ☒ 無		関連工事として発注される建築工事の仮設計画をもとに必要な措置を講じること
②交通誘導員	☐ 有 ☒ 無		
③工事用電力、水の利用	☐ 有 ☒ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	☐ 有 ☒ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	☐ 有 ☒ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	☐ 有 ☒ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	☐ 有 ☒ 無		
③その他 (特別産業廃棄物等)	☐ 有 ☒ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	☐ 有 ☒ 無		
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	☒ 有 ☐ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること (F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」1、適用図書による。		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページ検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ営繕課担当事務 「営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		
⑤施工時期・時間等	関連工事着手前に近隣住民等を対象に関連工事として発注される建築工事の住民説明会を開催する。施工に際しては、その説明会等で決められた内容を遵守すること。		
⑥工事完成時期	現場施工は令和8年8月末までに完了させるように努めること。		
⑦完了検査	完了検査手数料及び申請業務費用を見込むこと。		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼動による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼動による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7・8年度

数 量 書

工 事 名 称 (仮称) 障がい者ケアセンター建設工事 (昇降機設備)

工 事 場 所 海老名市社家二丁目3449番地ほか3筆

工 期 令和7年9月26日から令和8年9月11日まで

工 事 概 要 ■ 建物概要

構造・規模: RC造一部木造 2階建

敷地面積: 2196.93㎡ 建築面積: 1245.35㎡ 延床面積: 1885.17㎡

■ 主要工事

主要機器、かごの設置、三方枠、乗場敷居、乗場戸・乗場ボタン等の設置

■ エレベーター概要

01号機: 機械室レスエレベーター

寝台用 (人主体)、定員17名、積載量1,150kg、定格速度45m/min

02号機: 機械室レスエレベーター

寝台用 (人主体)、定員11名、積載量750kg、定格速度45m/min

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
昇降機設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
確認・完了検査料	1	式		
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

昇降機設備工事 細目別内訳

6

昇降機設備工事		昇降機設備工事		01号機械室レスエレベーター		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
01号機械室レスエレベーター	寝台用(人主体)積載量:1150kg 定員:17名 定格速度:45m/min 停止箇所:正面 2停止(1-2階) 戸閉方式:2枚戸片引き 操作方式:乗合全自動方式					
巻上機		1	式			
マシンルーム		1	式			
受電制御盤		1	式			
自動着床装置		1	式			
かご		1	式			
三方枠		2	か所			
敷居		2	か所			
乗場の戸		2	か所			
乗場位置表示器		2	か所			
車椅子専用乗場ボタン		2	か所			
フェッシャープレート		1	式			
レール		1	式			
ロープ		1	式			

昇降機設備工事 細目別内訳

昇降機設備工事		昇降機設備工事		01号機械室レスエレベーター		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
つり合いおもり		1	式			
安全装置		1	式			
緩衝装置		1	式			
地震時管制装置		1	式			
アウクス装置		1	式			
停電時自動着床装置		1	式			
火災時管制装置		1	式			
配管配線材料		1	式			
インターホン		1	式			
消耗品雑材料		1	式			
労務費	法定福利費含む	1	式			
運搬費		1	式			
計						

昇降機設備工事 細目別内訳

7

昇降機設備工事		昇降機設備工事		02号機械室レスエレベーター		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
02号機 機械室レスエレベーター	寝台用(人主体)積載量: 750kg 定員:11名 定格速度:45m/min 停止箇所:正面 2停止(1-2階) 戸閉方式:2枚戸片引き 操作方式:乗合全自動方式					
巻上機		1	式			
マシンルーム		1	式			
受電制御盤		1	式			
自動着床装置		1	式			
かご		1	式			
三方枠		2	か所			
敷居		2	か所			
乗場の戸		2	か所			
乗場位置表示器		2	か所			
車椅子専用乗場ボタン		2	か所			
フェッシャープレート		1	式			
レール		1	式			
ロープ		1	式			

昇降機設備工事 細目別内訳

昇降機設備工事		昇降機設備工事		02号機械室レスエレベーター		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
つり合いおもり		1	式			
安全装置		1	式			
緩衝装置		1	式			
地震時管制装置		1	式			
アウクス装置		1	式			
停電時自動着床装置		1	式			
火災時管制装置		1	式			
配管配線材料		1	式			
インターホン		1	式			
消耗品雑材料		1	式			
労務費	法定福利費含む	1	式			
運搬費		1	式			
計						

（仮称）障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 面 名 称
ELV - 01	表紙・図面 リスト
ELV - 02	特記仕様書
ELV - 03	工事区分表
ELV - 04	配置図・付近見取図
ELV - 05	1階平面図
ELV - 06	2階平面図
ELV - 07	01号機 仕様書
ELV - 08	01号機 平面図
ELV - 09	01号機 断面図
ELV - 10	02号機 仕様書
ELV - 11	02号機 平面図
ELV - 12	02号機 断面図
ELV - 13	02号機 詳細図

昇 降 機 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

1. 工事概要
- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1. 工事名称 | (仮称) 障がい者ケアセンター建設工事 (昇降機設備) |
| 2. 工事場所 | 海老名市杜家二丁目3449番地ほか |

[illegible]

4. 工事種目 (●印のついたものを適用する。)

[illegible]

5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工 期:令和 年 月 日)
(対象部分:)

方 式	機 種	要
基本仕様等	01号機	● 機械式レスエレベーター 寝台用（人主体） 積載量：1,150kg 定員：17名 定格速度：45m/min
	02号機	● 機械式レスエレベーター 寝台用（人主体） 積載量：750kg 定員：11名 定格速度：45m/min

1. 特記仕様書
- ①一般事項
- (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁庁務部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、最新版)」、「以下(標準仕様書。という。」、同建設省、環境建設部の「公共建築工事標準図書(機械設備工事編、最新版)」(以下「標準図書」という。及び国土交通省大臣官房官庁庁務部監修の「機械設備工事標準図書(機械設備工事編、最新版)」による。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- ②特記事項
- (1) 項目は番号及び①の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、①の付いたものを適用する。①の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- ③印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項	目	特 記 事 項
---	---	---	---------

- | | |
|----------------|---|
| ① 適用基準等 | ○ 工事写真の撮り方（建設設備編）（国土交通大臣官庁審判部監修） |
| ② 機 材 等 | ※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受けるものとする。
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。
※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルムアルデヒド不使用が明示されたものとする。 |
| ③ 機材の品質・性能証明 | 本工事を事前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承認を受ける。
また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料は、外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承認を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。 |
| ④ 保 険 | 本工事を事前に工事に使う物及び工事材料等を、本工事を完了後引渡しまし、火災保険及びその他の保険に付し、監督職員に提出すること。 |
| ⑤ 施工計画書および施工図等 | 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
工事の着手に先立ち、工種別工事要領書および施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。 |
| ⑥ 工事実績情報の登録 | 請負額が500万円以上の場合は、CORONAに登録する。
受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出すること。（請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ） |
| ⑦ 手続 | 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関との必要な届出手続等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は、請負者の負担とする。 |
| ⑧ 事故報告 | 指示中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、任意様式にもとづき「事故報告書」を提出する期日までに監督職員に提出する。 |
| ⑨ 電気保安技術者 | ※ 適用する ○ 適用しない |
| ⑩ 技能士の適用 | 本工事に下記のとおり技能士（1級・2級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
・ 配管（配管工事） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け） ・ 熱絶縁施工（保温工事）
・ 冷凍空調調和機器施工（チリングユニット、パッケージ型空調機の据付け及び調整） |
| ⑪ 足場等 | ※ 別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用する。 ・ 本工事で設置
特別足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。 |
| ⑫ 工事表示板 | ※ 設置する ・ 設置しない
海老市市民公共工事共通事項書による |
| ⑬ 監督員事務所 | ※ 設けない ・ 設ける |
| ⑭ 工事用電力、水、その他 | 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまし、請負者の負担とする。 |
| ⑮ 工事用仮設物 | 構内にあることが ・ できる ・ できない |
| ⑯ 残土処理 | ・ 構外搬出 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 |
| ⑰ 発生材の処理 | （1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり（ ）
（2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当 ・ なし ・ あり（ ）
（3）引渡しを要するもの ・ なし ・ あり（ ）
（4）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、・ 構外搬出の上、適切に処分すること。 |
| | （ア）特別管理産業廃棄物
※ なし ・ あり（ ）
（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
・ コンクリート（ ）
・ コンクリート及び鉄からなる建設資材（ ）
・ 木 材（ ）
・ アスファルトコンクリート（ ）
（ロ）その他発生材の処分を行う施設
・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（ ）
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物（ ） |
| | 建設リサイクル法
・ 対象工事
落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1～3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前、契約担当者等に説明書提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて速やかに報告すること。 |
| | ・ 対象外工事 |
| ⑱ 総合調整 | ※ 本工事におよび下記の項目の総合調整を行い、報告書提出する。（2部） ・ 別添
総合調整の対象
・ 室内気流及びじんあい測定 ・ 騒音の測定 ○ 初期運転状態の記録
○ 機種の総称指図の測定箇所は、監督職員による。 |
| ⑲ 容量等の表示 | （1）機器側の能力。容量等は指示された数値以上とする。
（2）電動機出力。燃料消費量及び圧力損失。原則として表示された数値以下とする。 |

- ## 20 耐震措置

21. 電線類

- ## 22. 溶接部の非破壊検査

23. はつり

- #### 24. 支持金物・固定金具

- ## 25. 塗 装

- ## ②⑥ 他工事との取り合い

- ### ② 施工条件

- 無價値

-

機器、配管等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。

耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課 2005年版監修）による。

設置場所	設計用標準震度			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上階部、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中階部	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

- 注 (1) 設置場所の区分は標準仕様書による。注 (2) 内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
 (1) 本工事の施設は(・一般の施設 ☒ 特定の施設)とする。
 (2) 地域係数は1.0とする。
 (3) 100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらずともよい。
 昇降機(のり)のつり合おもりのブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力に對し、つり合おもりが枠から脱落しないよう十分に考慮すること。

- 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第6編 通信・情報設備工事 第1章 機材 第1節 電線類等 1.1.1 電線類等 表1.1.1電線類に次の種類を追加する (EM-CEES, EM-UTP, EM-MEES, EM-EBT)

- 検査の種類 ・ 浸透探傷検査（PT）又は磁粉探傷検査（MT） ・ 放射線浸透検査（RT）

- (1) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

- 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。

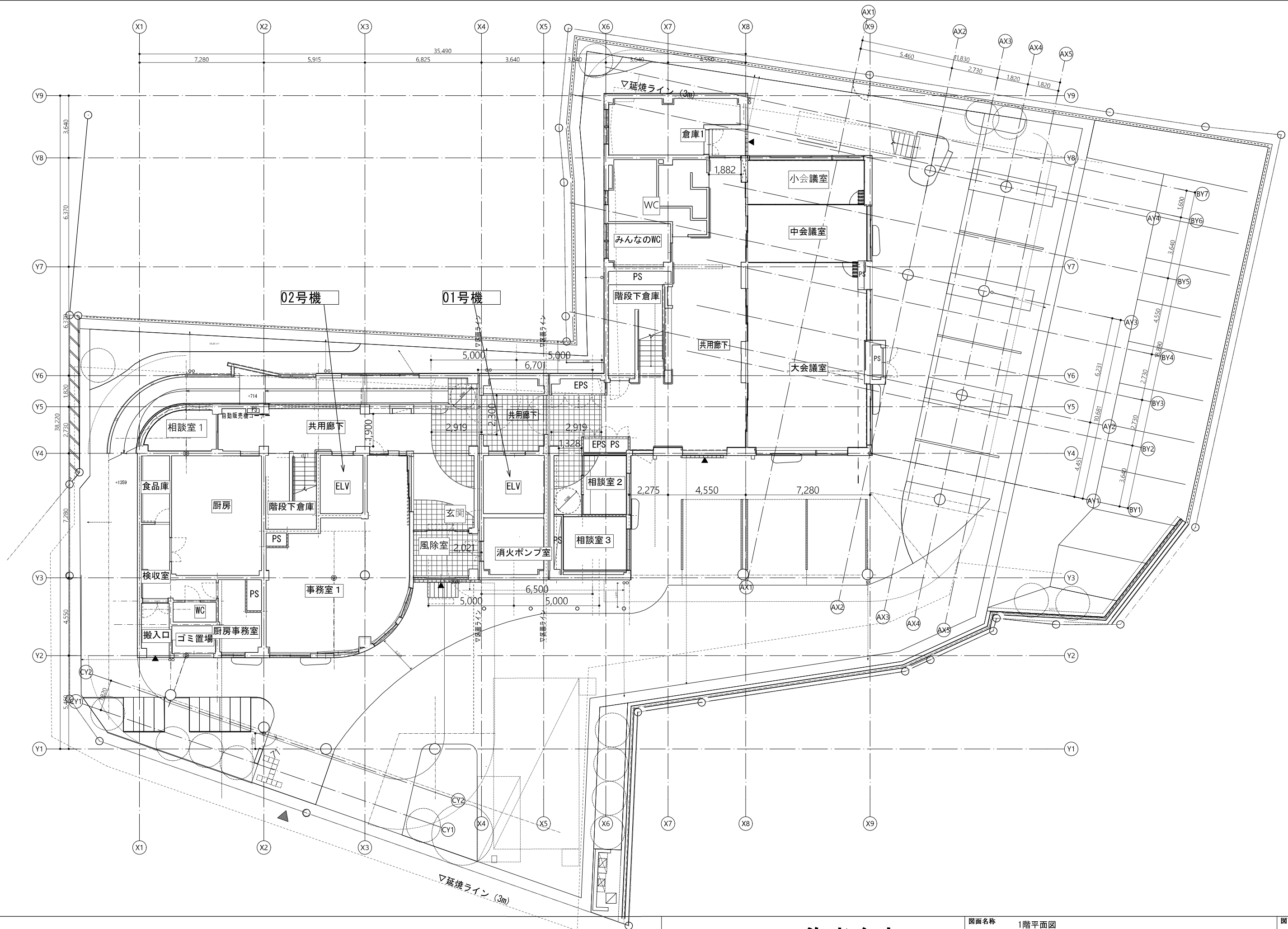
- 図面に特記なき場合は、別途「工事区分表」による。

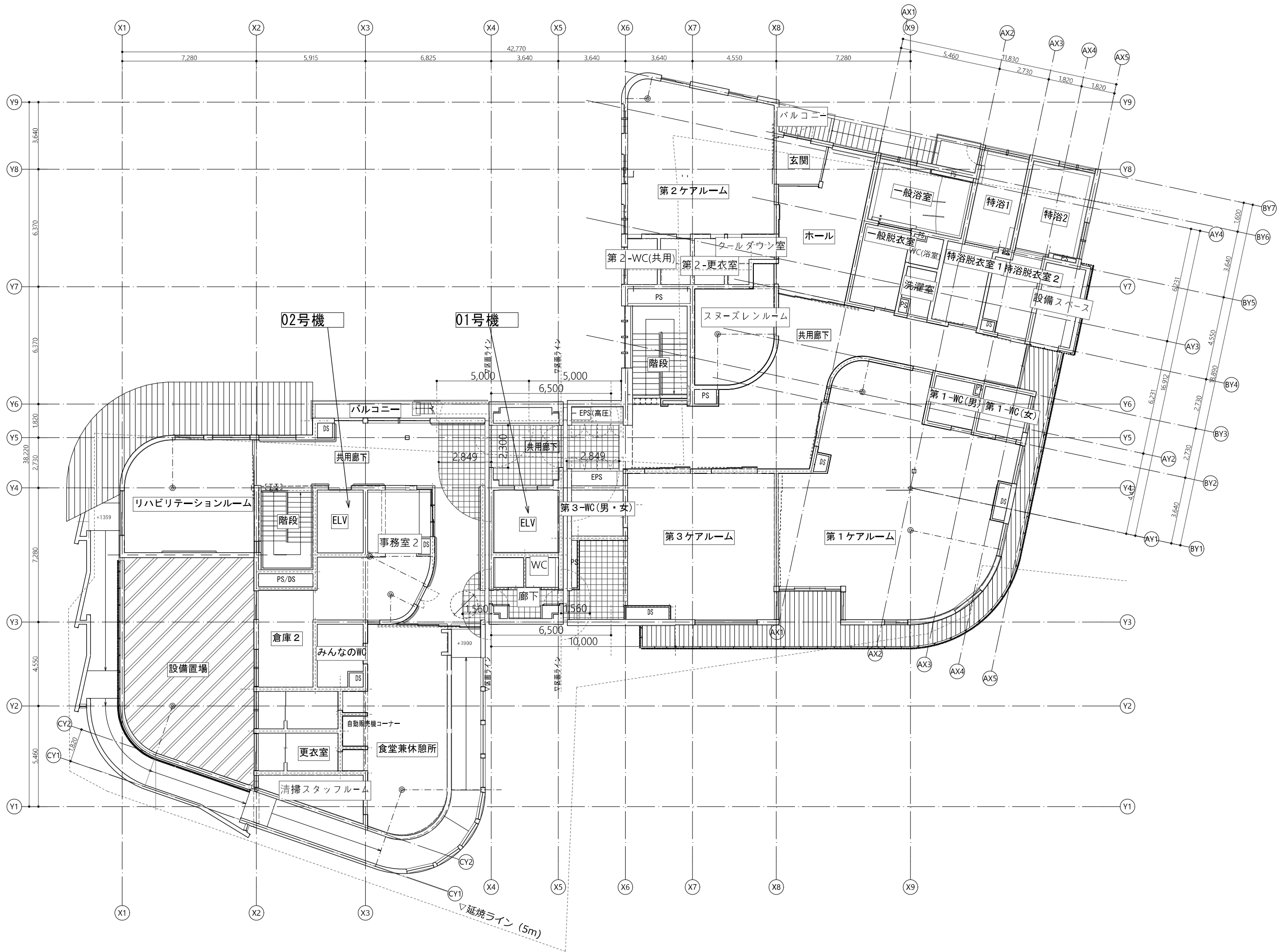
- 別添の本工事内容説明事項書による。

- 主任技術者の専任については、実工期間とし現場代理人との兼務を認める。また、現場代理人の常駐については実工期間以外は連絡体制等を整えることで常駐緩和を認める。

[illegible]

	 海老名市 Ebina City	図面名称	工事区分表	図面番号	ELV-03
		縮尺	*		
		工事件名	(仮称) 障がい者ケアセンター建設工事 (昇降機設備)		





エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	0 1号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	B 1 1 5 0－2 S
	用途	寝台用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1 C－2 B C）
	積載量	1 1 5 0 k g
	定員	1 7名
	定格速度	4 5 m／m i n
	戸閉方式	2枚戸片引き（2 S）
	出入口幅 J J	1 5 0 0 mm
	出入口高さ H H	2 1 0 0 mm
	かご室サイズ（内法間口 A A）	1 8 0 0 mm
	かご室サイズ（内法奥行 B B）	2 5 0 0 mm
	かご室内法高さ	2 3 0 0 mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	2停止（1－2階）
その他基本仕様	動力用電源	A C 3 φ－2 0 0 V－5 0 H z
	照明用電源	A C 1 φ－1 0 0 V－5 0 H z
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラス A 1 4
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和 4 年版
	敷居間隔	1 0 mm
	ドアセンサ機能	マルチビームドアセンサ 2 D
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P 波＋ S 波センサ付 3 段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご内防犯カメラ	エレベーター工事

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	0 1号機
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 3 0 0 mm以下 ステンレスヘアライン（1－2 階）
	乗場戸	銅板化粧シート貼（標準柄） 仕上（1－2 階）
	乗場戸目地	ステンレスヘアライン仕上 2 枚戸片引き用（1－2 階）
	乗場敷居	アルミ製（1－2 階）
	乗場インジケーター	一体セグメント L E D ステンレスヘアライン（1－2 階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ 3 3 ・凸文字・黄橙色 L E D）（1－2 階）
	抗ウイルス・抗菌仕様（乗場側ボタン）	抗ウイルス・抗菌コート（1－2 階）
	休止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形 ステンレスヘアライン仕上（1－2 階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ 3 3 ・凸文字・黄橙色 L E D）（1－2 階）
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込
	天井	スタンダード ： L E Dフラット（白色 L E D）銅板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	銅板化粧シート貼（標準柄） 仕上
	側面壁	銅板化粧シート貼（標準柄） 仕上
	出入口上板	ステンレスヘアライン仕上
	かご室戸	銅板化粧シート貼（標準柄） 仕上
かご室仕様	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	アルミ製
	かご室戸目地	ステンレスヘアライン仕上 2 枚戸片引き用
	かご床	樹脂タイル 2 mm
	かご室敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ 3 3 ・凸文字・黄橙色 L E D）
	抗ウイルス・抗菌仕様（一般かごボタン）	抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（1 0．1 インチ）
	かご操作盤液晶表示言語	4 か国語ガイド（通常時：日英、緊急時：日英中英、1 画面表示）
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置 プレート：ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータータイプ	ドット L E D（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ 3 3 ・凸文字・黄橙色 L E D）
	抗ウイルス・抗菌仕様（車いすかごボタン）	抗ウイルス・抗菌コート
その他仕様	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付き風圧抑制装置付きファン
	かご室手すり	フラットステンレス 三面取付（正面＋両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾 5 0 0）
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上（ビズなし）高さ：床面より 3 5 0 mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで 1 8 9 5 mm）
	床保護マット	あり
	配膳車対応仕様	総重量：8 0 0 k g まで
	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	乗場前後挟まれ防止センサ	あり
	遮煙機能	大臣認定品 2 枚戸片引き用（1－2 階）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おむの非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	浸水時管制運転	客先接点式（盤面受渡し）
その他仕様	インターホン型式	2 4 V
	乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（露出形）
	無電圧 A 接点支給	エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
	戸開延長ボタン	ステンレスクリックボタン（□ 3 2 ・黄橙色 L E D）
	病院専用運転	ブロックサイン式
	かご内アナウンス	かご内 4 か国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中英）
	かご室スピーカー	あり
	高調波対策種類	A Cリアクトル（K i＝1．4 相当）
	昇降路防振対策	あり
	フェンジャープレート	エレベーター手配（2 階）
その他仕様	レールサイズアップ	あり
	煙感知器点検口スイッチ	あり（NANW03989-01）

乗場遮煙ドア設置上の条件	
・乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。 ・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置時のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報館を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧 a 接点，接点電圧 D C 2 4 V）	

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点	
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理大堂等に設置する場合は、2 4 時間管理大が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第 1 2 9 条の 1 0 第 3 項第三号） 管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。 1．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 2．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 3．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人入室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。	

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタ
ン等の穴あけ工事
（昇降路壁ば 5 c m 辺り 3 0 0 N の外力が作用した時に 1 5 mm を超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器搬重用のフック設置工事
- ~~通過路がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から 1 2 5 mm 以下）~~
- ビッド内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビッド床下部使用の場合の建築対策工事
- ビッドが深い場合の埋め戻し・浅い場合のはつり工事
- 段違いビッド時のビッド内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路頂部の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行う

- （対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（2 0 0 mm 以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付する

- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（築き込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0．9 φ×1 0 本）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降口ビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ビッド内点検用コンセント設備工事（照明用 A C 1 0 0 V とは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成 2 0 年国土交通省告示第 1 4 5 4 号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- ~~かご内 TV カメラがある場合、かご内 TV カメラ用配管・配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）~~
~~→ 5 C－2 V 同軸ケーブル~~
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合 3 線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（昇降路内温度 4 0 ℃および昇降路温度上昇 7 ℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量 エレベーター駆動部（1 2 4 0 W／1 台）
＋エアコン（－ W／1 台）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事
- やむを得ず仮設電源を本設電源と同仕様で供給不可の場合は、使用料は本工事受注者負担とする

注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ビッド底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は 2 1 N／mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は＋ 5 %～－ 1 0 % 以内、電圧不平衡率 5 % 以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（1）昇降路内の温度は－ 5 ℃～ 4 0 ℃以内、湿度は月平均 9 0 %、日平均 9 5 % 未満かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと（以下参考）
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび
海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス…H 2 S＝0．0 0 5 [p p m] 以下
亜硫酸ガス…S O 2＝0．0 1 [p p m] 以下
塩化水素ガス…H C l＝0．0 5 [p p m] 以下
塩素ガス…C l 2＝0．0 0 5 [p p m] 以下
アンモニアガス…N H 3＝0．1 [p p m] 以下
海岸地区における潮風…海岸より 2 k m 以上の地区
（ブルサイトの場合は上記塩素ガス C l 2 基準値以下）
※海岸より 2 k m 未満、ブルサイトの場合は昇降路内へ潮風・ブル方向からの風が入らず、乗場が壁外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと

＝（4）原則、昇降路の設置場所は標高 1 0 0 0 m 以下の高さとすること

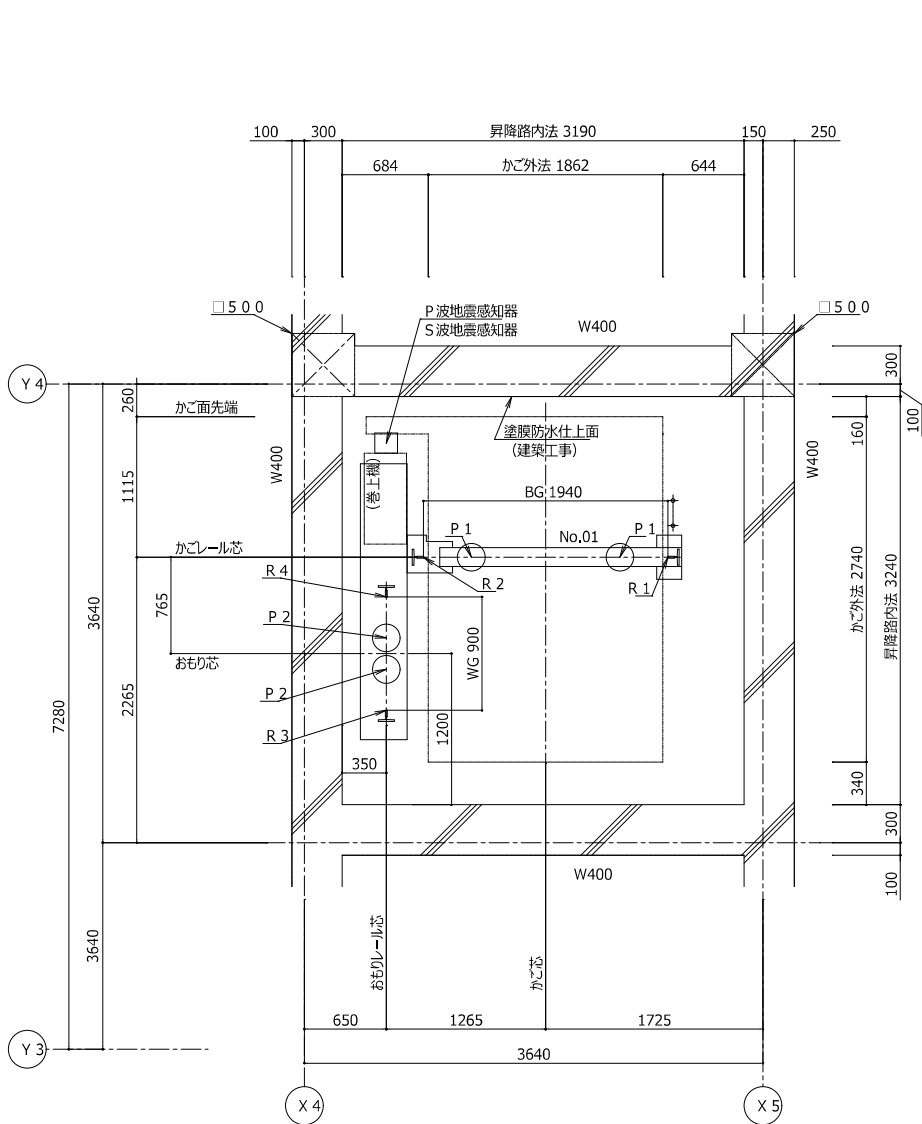
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内からスズしから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第 1 2 9 条の 2 の 4 第 1 項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は 8 0 0 k g 以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること

- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受けることがないように次の対策を行うこと
（1）エレベーター動力と通信機器・O A 機器等弱電機器の電源線・通信線を 1 m 以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・O A 機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・O A 機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へフレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工すること。乗場機器取付け前にフレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平 1 2 建告 1 4 0 2 号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを確認すること

＝（4）乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります

- 製品の検査は各規格に準じた基準にて行うこと
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110,2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です

海老名市 Ebina City 	図面名称	01号機 仕様書	図面番号 ELV-07
	縮尺	*	
	工事件名	（仮称）障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）	

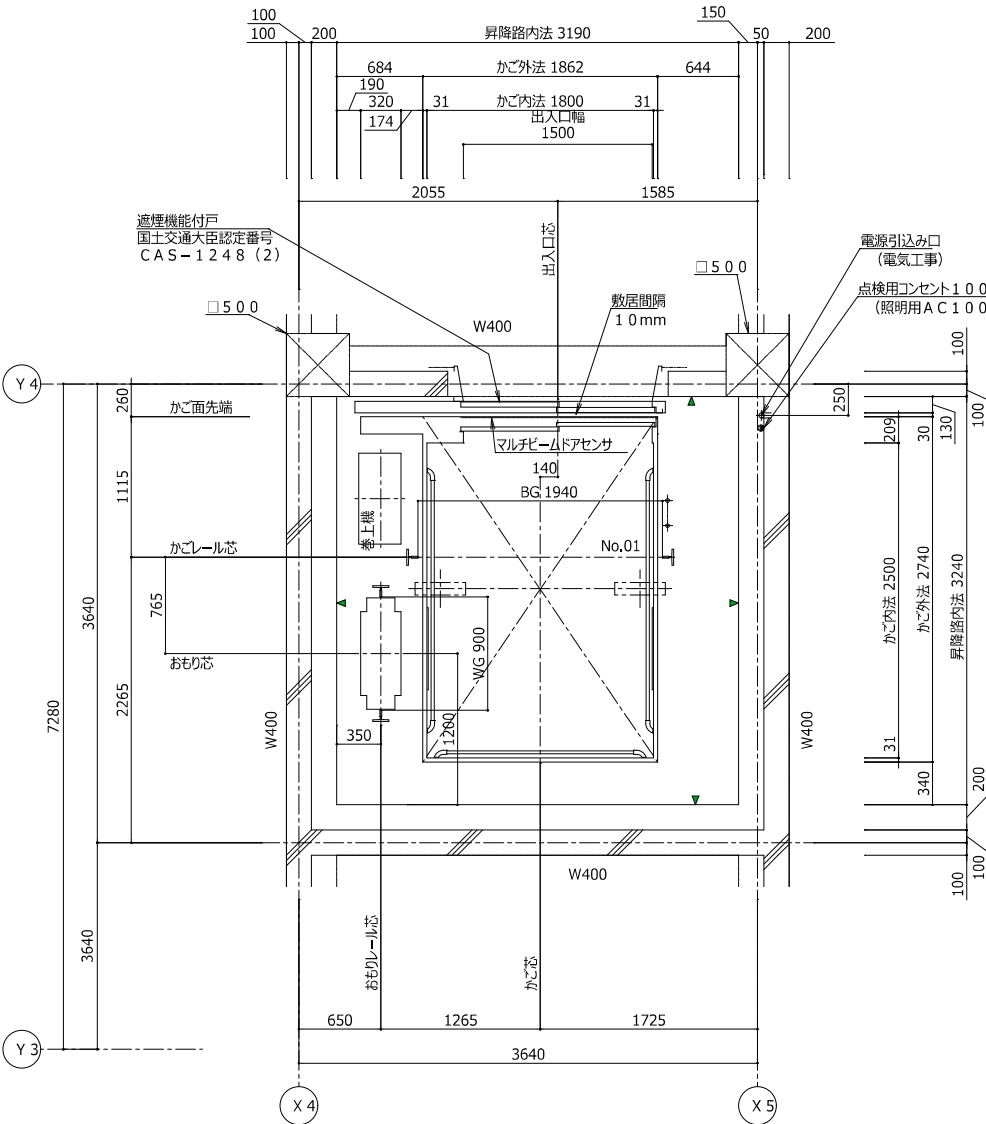


昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

ピット荷重 (短期荷重)		レール下端部荷重 (長期荷重)			
P 1 (kN)	P 2 (kN)	R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
82.0	68.0	49.0	41.0	53.0	58.0

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は、最下階 F L 面まで立ち上げる。 (建築工事)

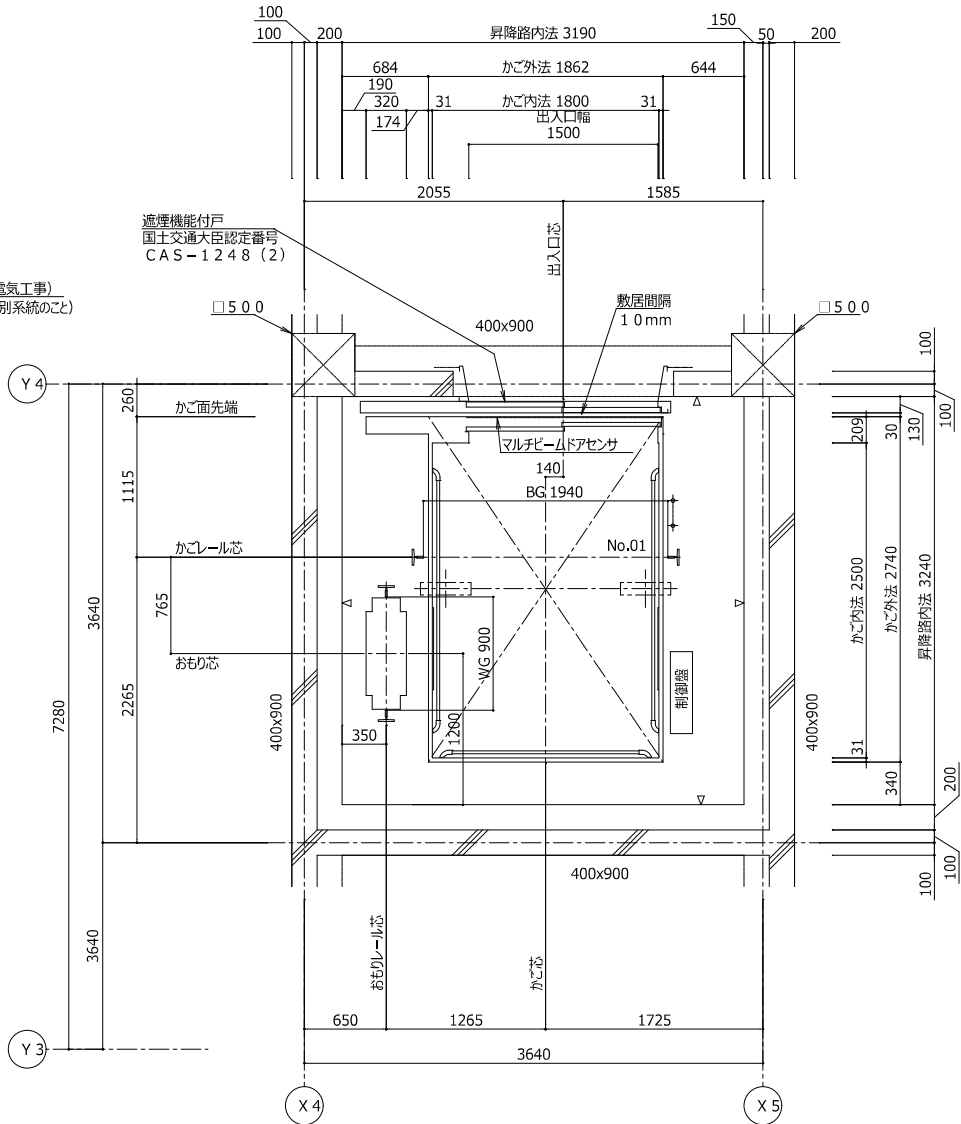
昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁に、あと施工アンカーにより取付を行う。



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

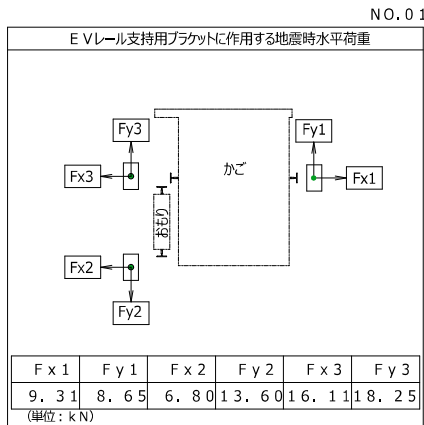
▲:ピット仕上面を示す

昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可



昇降路平面図 (1/30)
(2階)

▽:梁面を示す



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が 5mm 以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

動力電源設備 (C V T 電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値 ^{*)} 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC 3φ 200V 50Hz	5.9kW	6kVA	50AT	200mA 以上 0.2秒 以上	4.2m まで 7.3m まで 11.2m まで 8mm ² 14mm ² 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源 AC 1φ 100V 50Hz (設備容量 1kVA/台 電源側 NF 容量 20AT/台) (*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

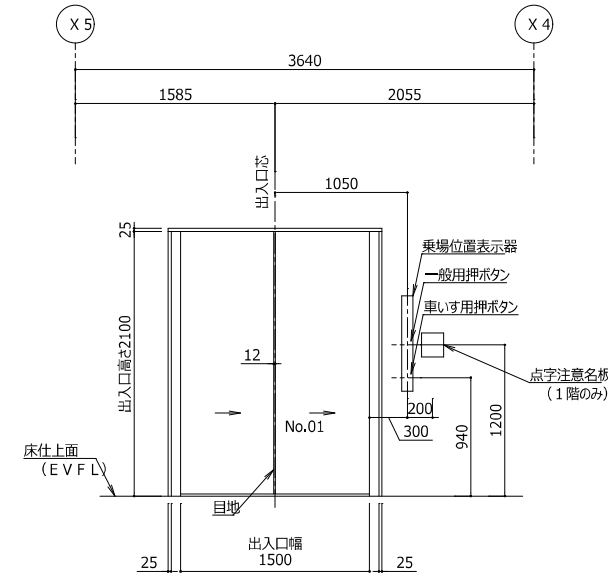
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分 No.	6/10ms 換算係数 (K i)	6/10ms 等価 容量 [K i P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 AXIEZ (1150kg-45m/min)	7.4	1	7.4	31	3.4	25.1	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
ACリアクトル追加 (K i=1.4相当)					10	1.4	10.4	25	31	8.7	6.2	3.3	2.3	1.9	1	1

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

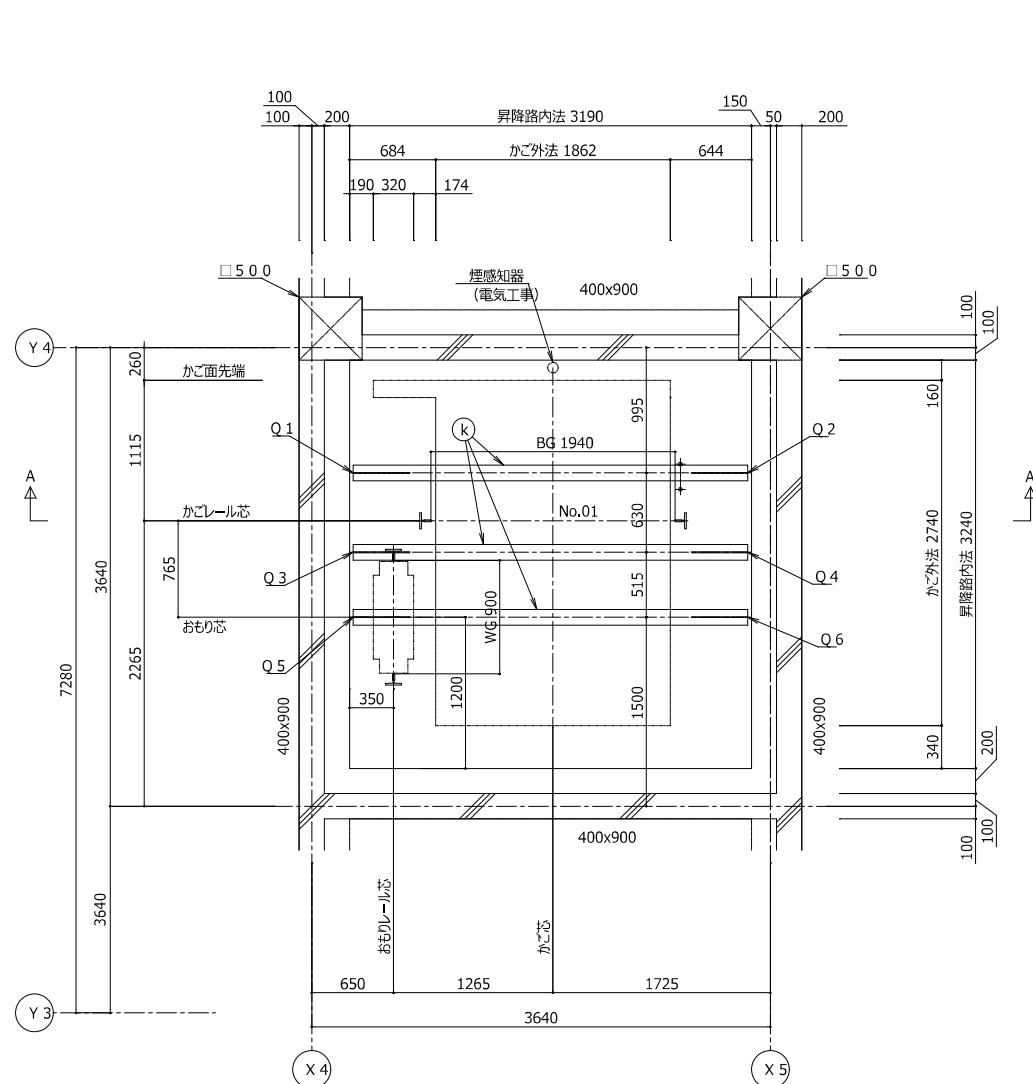
※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

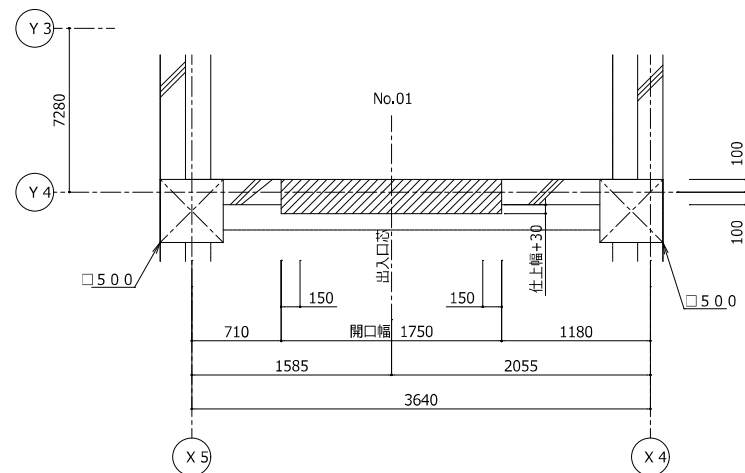
(電気工事)
電源引き込み口 (最下階天井付近)
動力用 AC 3φ-200V-50Hz
照明用 AC 1φ-100V-50Hz
D種接地工事
・インターホン用配管配線工事
・CPEV-0.9×5P
・火災警報用配管配線工事
・自火報より無電圧 a 接点支給 (接点定格 DC 24V)
・遠隔監視用配管配線工事
・PVC-0.65×4C
・ガストースピーカー用配管配線工事
・HP1.2mm×3C
・無電圧 A 接点支給 (接点定格 DC 24V)
エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
CPEV0.9×1P
・浸水時警報用配管配線工事
建物側より無電圧 a 接点支給 (接点定格 DC 24V)
電源線引出し長さ 天井高さ+650.0mm



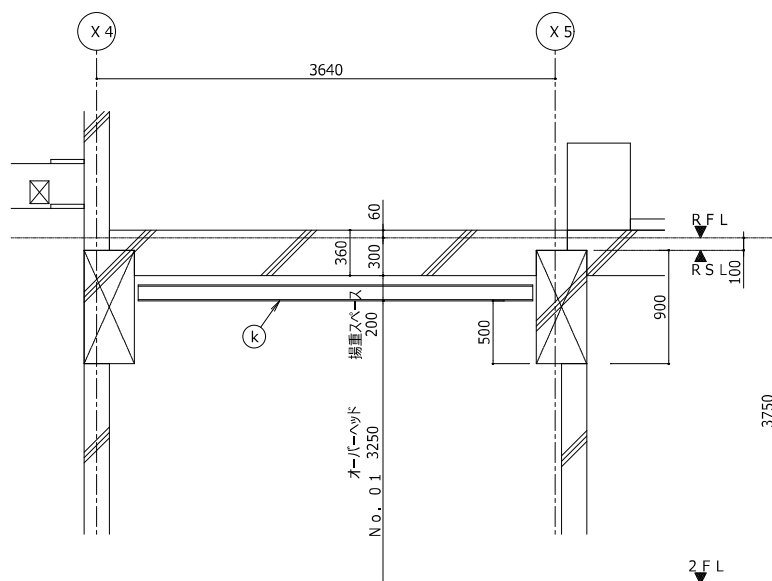
車場正面図 (1/30)
(No.01号機)
(1,2階)



昇降路平面図 (1/30)
(頂部)



昇降路穴あけ図 (1/30)
(1, 2階)



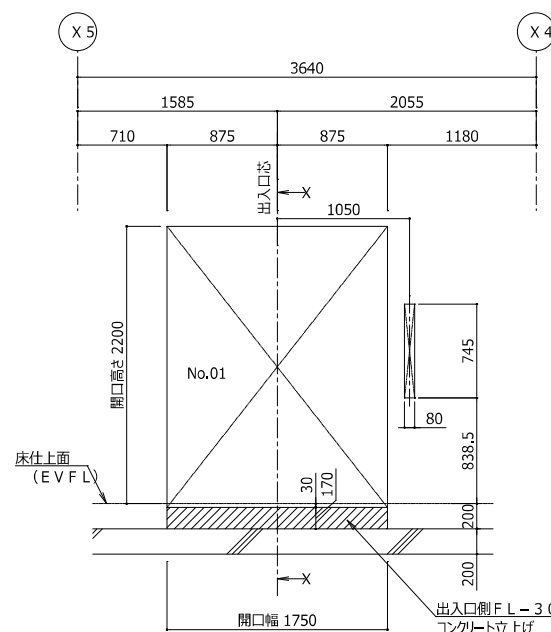
昇降路頂部断面図 (1/30)

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
k	揚重ビーム (ビーム残し)	H-125×125×6, 5×9	建築工事

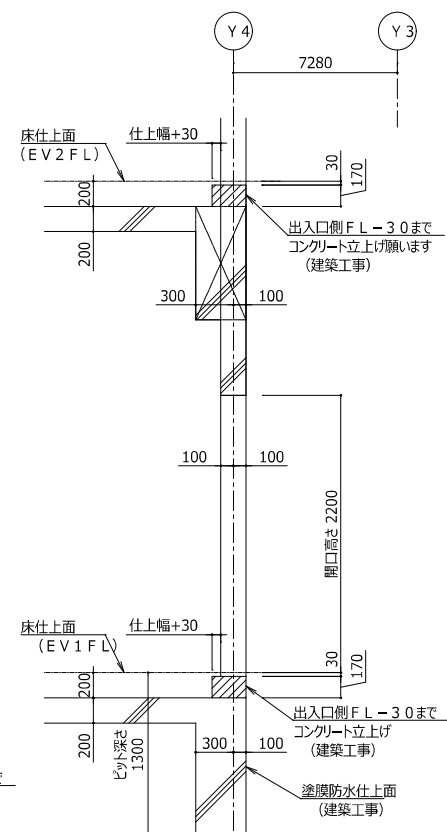
揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
53.0	20.0	20.0	23.0	53.0	20.0

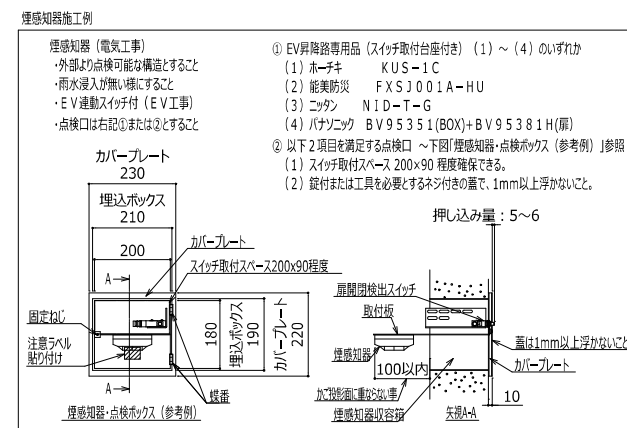
Q1～Q6はEV据付時に作用する



乗場穴あけ図 (1/30)
(No. 01号機)
(1, 2階)



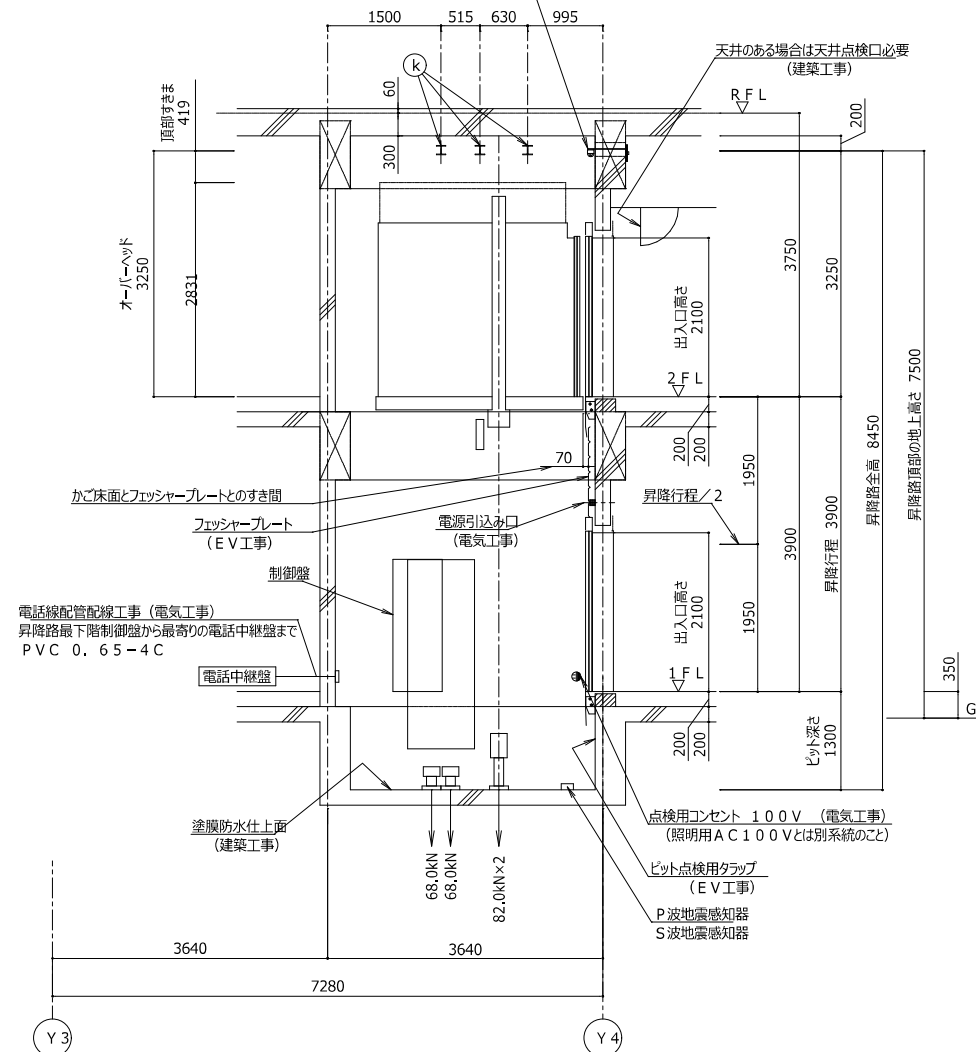
X-X断面



煙感知器（電気工事）※煙感知器施工例を参照のこと

- ・外部より点検可能な構造とすること
- ・雨水浸入が無い様にすること
- ・点検口は錠付または工具を必要とする
ネジ付とすること
- ・E V運動スイッチ付（E V工事）
- ・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮すること
（300□以内、鋼板1.6t）

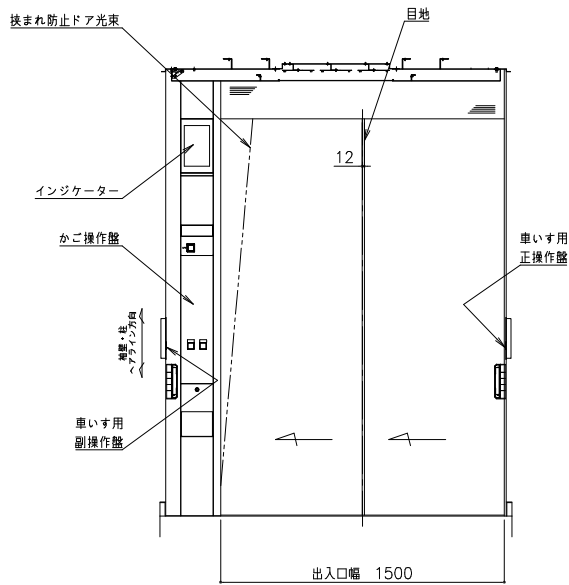
昇降路内の温度は40℃以下とする



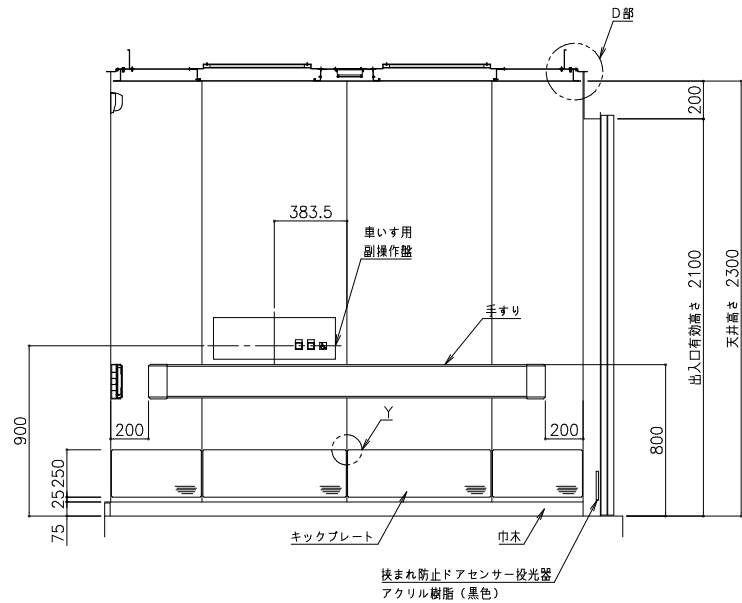
昇降路断面図 (1/50)
(NO. 01)

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F L面まで立ち上
げ（建築工事）

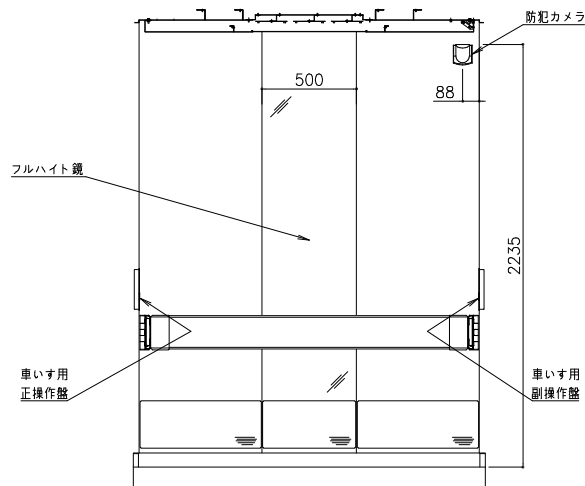
図面は塗膜防水仕上後の有効寸法。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮すること



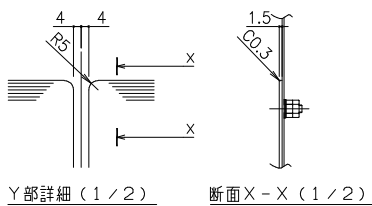
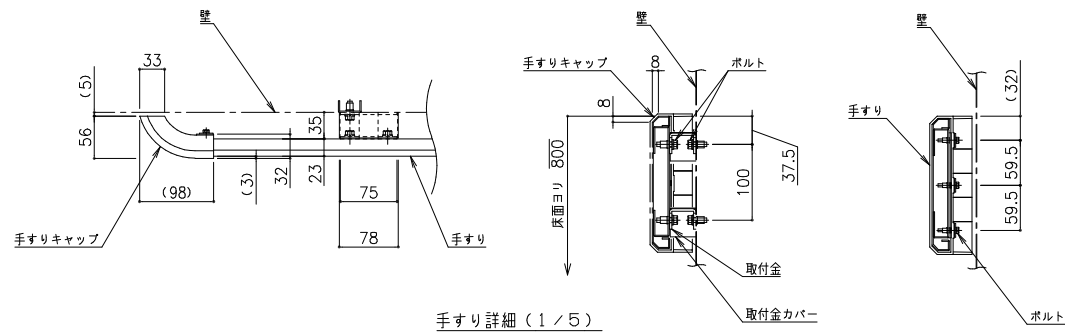
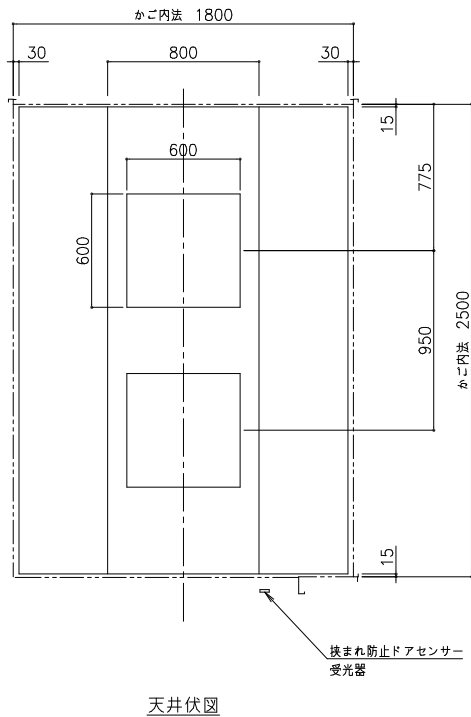
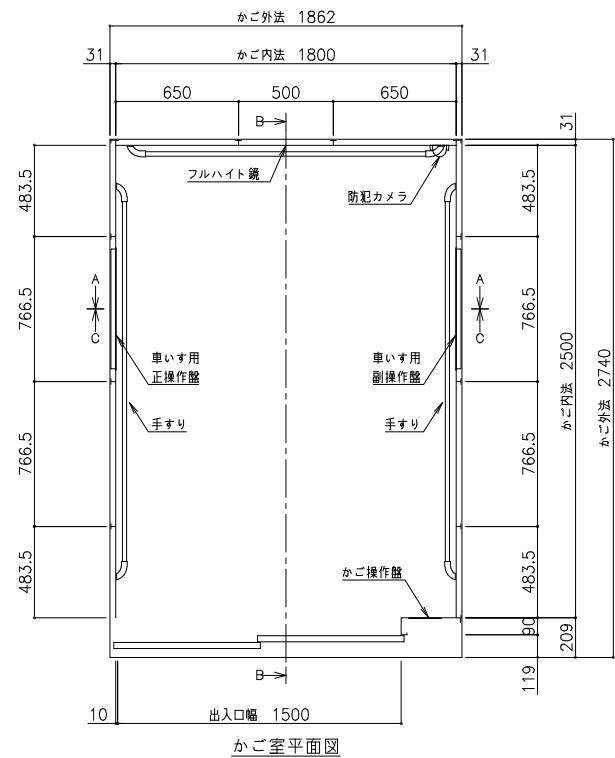
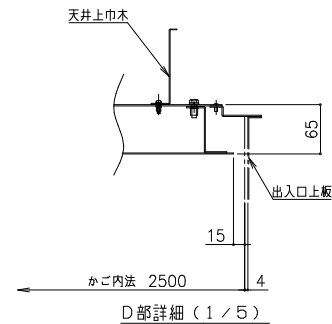
かが室正面図（矢視A-A）



かが室側面図（矢視B-B）



かが室背面図（矢視C-C）



意匠仕様	
吊天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明（白色）
換気装置	脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン
停電灯	主照明兼用式
壁	鋼板化粧シート貼（標準納）仕上
出入口上板	ステンレスヘアライン仕上
戸	鋼板化粧シート仕上貼（戸当たり目地：ステンレスヘアライン仕上）
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル 2mm
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t1.5
手すり	フラット手すり：ステンレスヘアライン仕上 取付金カバー：ステンレスヘアライン仕上 手すりキャップ：ポリプロピレン（色：ダークグレー）
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床マット	あり

かが室意匠図（1/20）
（No. 01号機）

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	0 2号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	B 7 5 0－2 S
	用途	寝台用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1 C－2 B C）
	積載量	7 5 0 k g
	定員	1 1名
	定格速度	4 5 m／m i n
	戸開方式	2枚戸片引き（2 S）
	出入口幅 JJ	1 1 0 0 mm
	出入口高さ HH	2 1 0 0 mm
	かご室サイズ（内法開口 AA）	1 3 0 0 mm
その他基本仕様	かご室サイズ（内法奥行 BB）	2 3 0 0 mm
	かご室内法高さ	2 3 0 0 mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	2停止（1－2階）
	動力用電源	A C 3 φ－2 0 0 V－5 0 H z
	照明用電源	A C 1 φ－1 0 0 V－5 0 H z
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラス A 1 4
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	敷居間隔	1 0 mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波＋S波センサ付3段設定（普通級）
その他基本仕様	停電時自動着床装置	あり
	かご内防犯カメラ	エレベーター工事

分類	仕様項目	0 2号機
基本仕様	乗場敷居配膳車対応	あり（1－2階）
	乗場三方枠	大枠未広幅板なし 1 3 0 mm～3 5 0 mm ステンレスヘアライン（1－2階）
	乗場戸	銅板化粧シート貼（1－2階）
	乗場戸目地	ステンレスヘアライン 2枚戸片引き用（1－2階）
	乗場敷居	アルミ製（1－2階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1－2階）
	乗場インジリー体形ボタン	ステンレスグリップボタン（φ3 3・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1－2階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	乗場インジ運行表示灯2	専用表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン（1－2階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスグリップボタン（φ3 3・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1－2階）
	乗場休止スイッチ	あり
乗場仕様	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
	天井	スタンダード : フラット（白色） 天井面材：銅板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧シート
	側面壁	化粧シート
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧シート
	かご室戸	化粧シート
	巾木	アルミ製
	かご室戸目地	ステンレスヘアライン
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー 標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸片引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご室仕様	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスグリップボタン（φ3 3・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（1 0，1 インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスグリップボタン（φ3 3・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン
	かご室手すり	フラットステンレス 三面取付（正面＋両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルバイト（巾5 0 0）
その他仕様	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より3 5 0 mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1 8 9 5 mm）
	床保護マット	あり
	配膳車対応仕様	総重量：6 7 5 k gまで
	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	乗場前検知挟まれ防止センサ	あり
	ホールモーションセンサ<3 D>	あり
	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸片引き用（1－2階）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
その他仕様	冠水時管制運転	あり
	浸水時管制運転	客先接点式（壁面受渡し）
	インターホン型式	2 4 V
	無電圧A接点支給	エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
	サービス切放し方式（一時解除付き）	開戸内スイッチ式（モード別設定）
	乗場呼び一時解除	テンキー式（乗場インジケーター設置）エレベーター手配
	戸開延長ボタン	ステンレスグリップボタン（□3 2・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	病院専用運転	ブロックサイン式
	かご内アナウンス	かご内4か国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	高調波対策種類	D Cリアクトル（K i＝1，8）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2階）
その他仕様	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】
		(NANW03989-02)

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点	
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理入室等に設置する場合は、2 4時間管理人が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第1 2 9条の1 0第3項第三号）	
管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。	
1．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。	
2．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。	
3．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。	
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。	

乗場遮煙ドア設置上の条件
・乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。 ・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。 （無電圧a接点、接点電圧D C 2 4 V）

No.02号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5 c m 辺り3 0 0 Nの外力が作用した時に1 5 mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは1 mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から1 2 5 mm以下）
- 0.ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- 1.ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- 2.ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事
- 3.段違いビット時のビット内保護欄工事（必要の場合）
- 4.昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行う

- （対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（2 0 0 mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
- 1 5.その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（築き込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0，9 φ×1 0 0 mm）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアを採用の場合、遮煙ドア設置階乗降口にて火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備連動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用A C 1 0 0 Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成2 0 年国土交通省告示第1 4 5 4号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
※かご内V Vカメラがある場合、かご内V Vカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
※5 C－2 V同軸ケーブル
- 0.かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合3 線式とすること）
- 1.昇降路の換気設備工事（昇降路内温度4 0 ℃および昇降路温度上昇7 ℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量 エレベーター駆動部（8 8 0 W／1台）
＋エアコン（－ W／1台）
- 2.監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事
- 3.やむを得ず仮設電源を本設電源と併仕様で
供給不可の場合は、使用料は本工事受注者負担とする

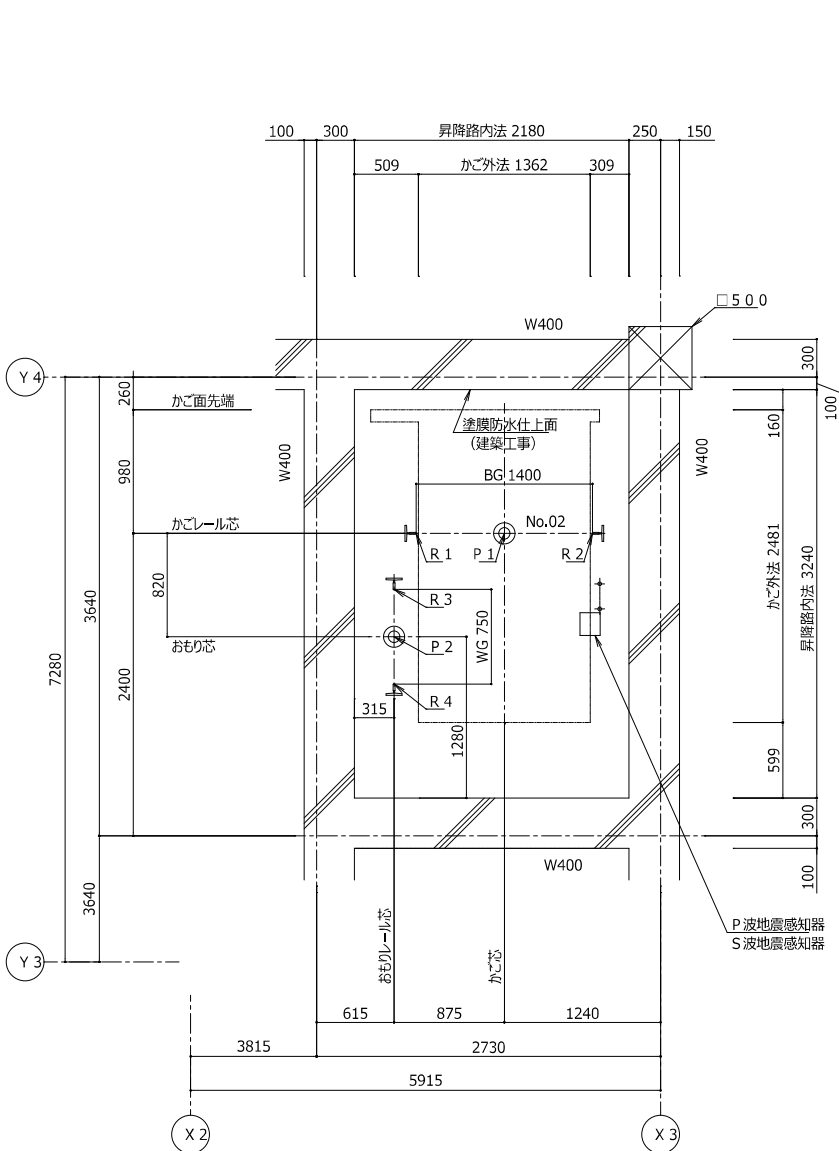
注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
 - コンクリート強度は2 1 N／mm 以上のこと
 - 電源電圧の変動は＋5 %～－1 0 %以内、電圧不平衡率5 %以内のこと
 - 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（1）昇降路内の温度は－5 ℃～4 0 ℃以内、湿度は月平均9 0 %・日平均9 5 %未満かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと（以下参考）
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス…H 2 S＝0，0 0 5 [p p m] 以下
亜硫酸ガス…S O 2＝0，0 1 [p p m] 以下
塩化水素ガス…H C l＝0，0 5 [p p m] 以下
塩素ガス…C l 2＝0，0 0 5 [p p m] 以下
アンモニアガス…N H 3＝0，1 [p p m] 以下
海岸地区における潮風…海岸より2 k m以上の地区（ブルサイトの場合は上記塩素ガスC l 2基準値以下）
※海岸より2 k m未満、ブルサイドの場合は昇降路内に潮風・ブル方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
- ＝（4）原則、昇降路の設置場所は標準1 0 0 0 mm以下の高さとする＝

- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第1 2 9条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること
- 輸送可能な過温配膳車や台車などの重量物は6 7 5 k g以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- 1.エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること
- 2.エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受けることがないように次の対策を行うこと
（1）エレベーター動力と通信機器・O A機器等弱電機器の電源線・通信線を1 m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・O A機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・O A機器等弱電機器のアース線の種類配線と接地極の分離をする
- 3.乗場壁へレタナ吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工すること。乗場機器取付け前にレタナ吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平1 2建造1 4 0 2号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを確認すること

- ＝1 4.乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります＝
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行うこと
電動機（巻上機・駆動機）：J E C-2110,2130、J I S C-4034-1
制御盤：J E M1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です

海老名市 Ebina City 	図面名称	02号機 仕様書	図面番号 ELV-11
	縮尺	*	
	工事件名	（仮称）障がい者ケアセンター建設工事（昇降機設備）	



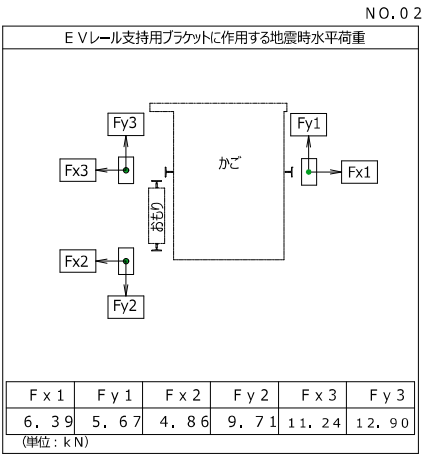
昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階 F L 面まで立ち上
げること (建築工事)

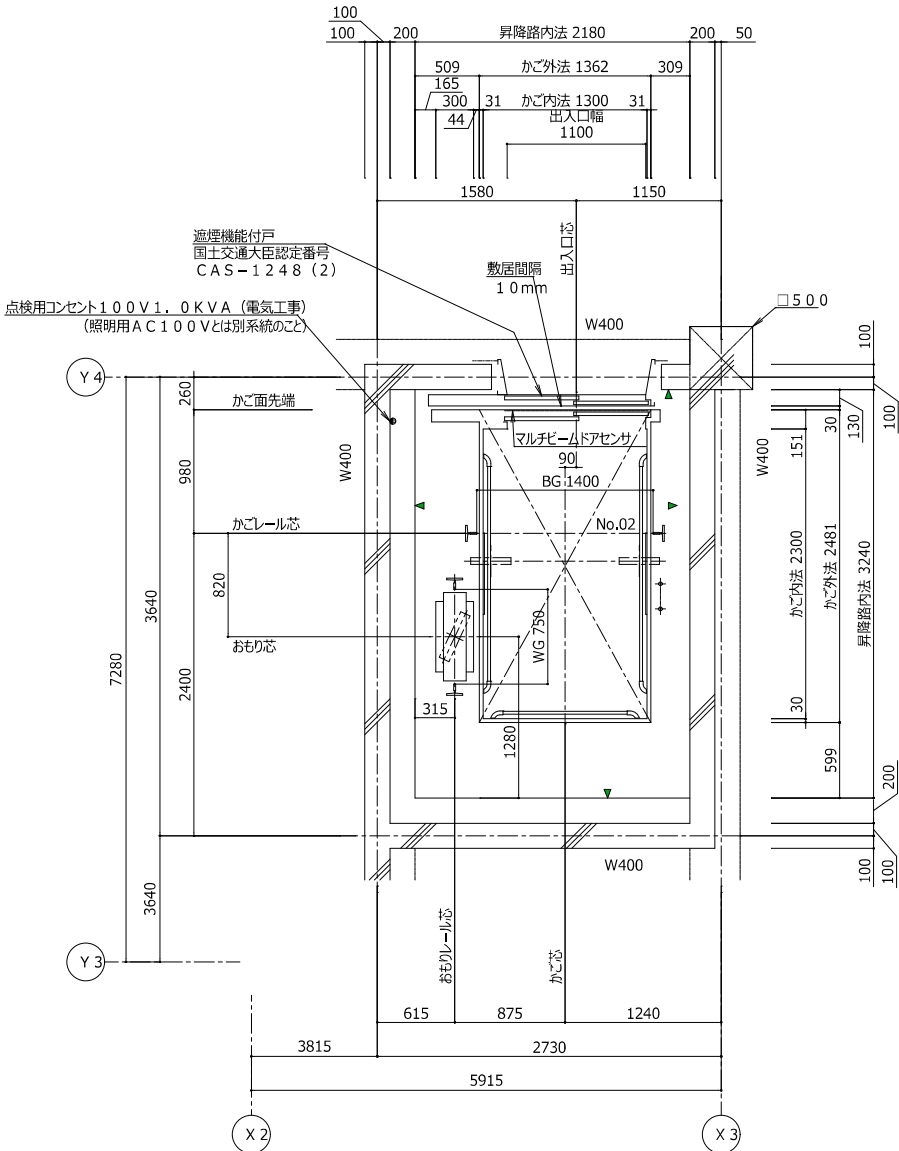
昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁に
あと施工アンカーにより取付を行う

ピット荷重 (短期荷重)	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
90.5	78.7

レール下端部荷重 (長期荷重)			
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
3.6	27.4	51.8	22.4

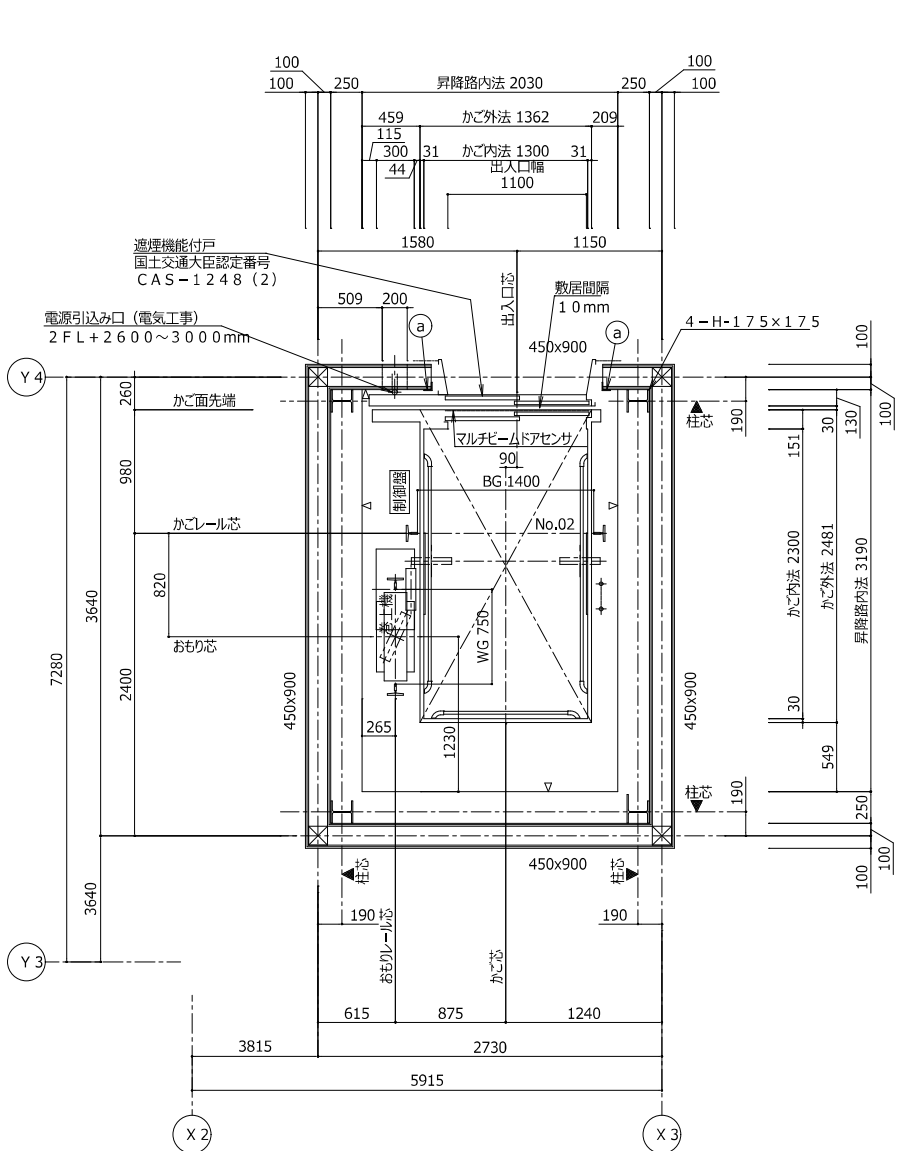


注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

▲:ピット仕上面を示す



昇降路平面図 (1/30)
(2階)

△:梁面を示す

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事

(電気工事)
電源引込み口 (2 F L + 2 6 0 0 ~ 3 0 0 0)
動力用 A C 3 φ - 2 0 0 V - 5 0 H z
照明用 A C 1 φ - 1 0 0 V - 5 0 H z
D 種接地工事
・インターホン用配管配線工事
・C P E V = 0.9 × 5 P
・火災管制運転転用配管配線工事
・自火報より無電圧 a 接点支給 (接点定格 D C 2 4 V)
・遠隔監視用配管配線工事
・P V C = 0.6 5 × 4 C

・かご内防犯カメラ用配管配線工事
・同軸ケーブル 5 C - 2 V
(両端を B N C プラグコネクタで端未処理の事)
・カゴ上スピーカー用配管配線工事
・H P L. 2mm × 3 C
・無電圧 A 接点支給 (接点定格 D C 2 4 V)
エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
・C P E V 0.9 × 1 P
・浸水時管制運転転用配管配線工事
・建物側より無電圧 a 接点支給 (接点定格 D C 2 4 V)
・電源線引出し長さ 7 0 0 0 mm

動力電源設備 (C V T 電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値 ^{*)} 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
02	A C 3 φ 2 0 0 V 5 0 H z	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mmまで 142mmまで 216mmまで 8mm ² 14mm ² 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源 A C 1 φ 1 0 0 V 5 0 H z (設備容量 1 k V A / 台 電源側 N F 容量 2 0 A T / 台) (*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分 N o.	6 バルス 換算係数 (K i)	6 バルス等価 容量 [K i × P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I n (%)							
ノイズフィルタのみ (標準)	02号機	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
○ D C リアクトル追加 (K i = 1.8 相当)	A X I E Z - L I N K S (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
9.0	3.0	9.0	12.0	17.0	11.0

[illegible][illegible]

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
d	掘垂ビーム取付用フッサー（リブ付）	PL-12	建築工事
k	掘垂ビーム（ビーム残し）	H-100×100×6×8	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事

煙感知器（電気工事）

- ・外部より点検可能な構造とすること
- ・雨水が漏れ、構内とすること
- ・E-V運動スィッチ付（EVI工事）
- ・点検口を記す必要はないこと

④ EV昇降器専用品（スィッチ取付台座付き）(1)～(4)のいずれか

- (1) ホーチキ KUS-I-C
- (2) 能美防災 FXSJ01A-HU
- (3) コツク NID-T-G
- (4) パシコック BV9531S(BOX)+BV9538H(鋼)

② 以下2項目を満たす点検口 ～下図「煙感知器・点検ボックス」(参考例) 参照

- (1) スィッチ取付スペース200×90 程度確保できる。
- (2) 錠付または工具を必要とするネジ付の蓋で、1mm以上浮かすこと。

押し込み量：5～6

蓋は1mm以上浮かないとカバープレート

矢頭A-A

頂部寸法 571

オーバーヘッド 3200

2629

制御室

電源引込み口 (電気工事)

電話線配管配線工事 (電気工事)

昇降路最上階制御盤から最寄りの電話中継盤まで PVC 0.65-4C

天井のある場合は 天井点検口必要 (建築工事)

電話中継盤

RFL

出入口高さ 2100

2 F L

70

200 200

昇降行程 / 2

1950

3900

昇降行程 3900

8400

昇降路全高

7450

出入口高さ 2100

1 F L

200 200

ピット深さ 1300

GL

350

かご床面とファッシャープレートとのすき間

ファッシャープレート (EV工事)

塗膜防水仕上面 (建築工事)

P波地震感知器

S波地震感知器

78.7kN

90.5kN

点検用コンセント 100V 1.0kVA (電気工事)

(照明用AC100Vとは別系統のこと)

ピット点検用タラップ (EV工事)

3640

7280

3640

Y3

Y4

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階F.L.面まで立ち上げ (建築工事)

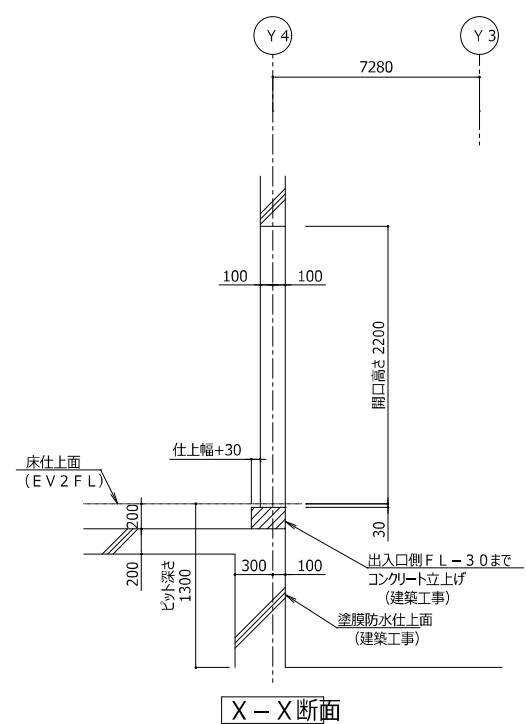
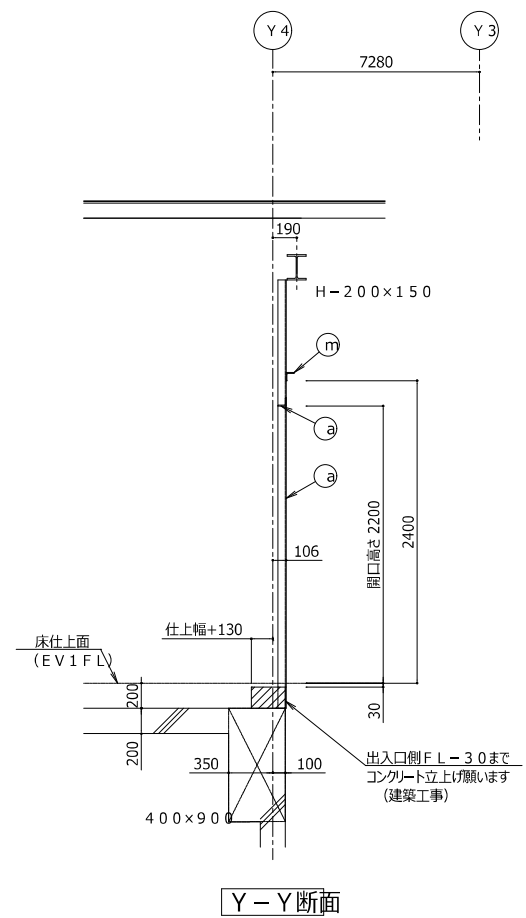
図面は塗膜防水有効寸法です。モルタル防水仕上仕上厚を考慮する

昇降路断面図 (1/50)

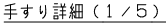
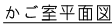
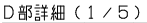
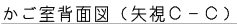
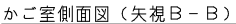
(NO. 02)

昇降路断面図 (1/50)
(NO. 02)

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮すること



部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事



かご室意匠図 (1/15)
(No. 02号機)

